

【キャリア教育】

■キャリア教育への取り組み状況

- ・中途退学状況（平成 24 年度実績）

1951 年に創立した本校は、ファッションの世界で「自立」して生きていくための力を身につけた人材を育成することを目的に、キャリア教育と業界最先端の知識技術を身に着けさせることに重点を置いている。そのため、業界企業との連携・協議を行い、各学科の教育目標や育成人材像、カリキュラム等に反映させている。

■就職支援等への取組状況

一人ひとりの長所を見極めたアドバイスとチャンスの創出で就職を力強くサポート

1. クラス担任による親身な就職サポート！

常時担当クラスの学生を見ているクラス担任が、クラスの学生一人ひとりの長所短所を熟知し、それぞれに適した就職アドバイスを行います。また、担任は就職部としての活動もしており、企業が求める能力を授業に反映させているのも特長です。

2. 企業からの求人要項は各クラスに掲載！

学生の素早いアクションが就職に結びつくことが多いため、企業からの求人要項は、それぞれのクラスに掲示しています。

3. ファッショングランプリや産学協同コラボで就職のチャンスも

ファッショングランプリ（卒業制作展）や産学協同コラボレーションにおいて、企業の方と親密になることも多くあります。企業の方からの推薦や紹介は即就職へとつながるチャンスとなるため、学生たちも実習やイベントに積極的に参加して、実績づくりや自己 PR に励んでいます。

4. インターンシップから直接、就職の道も

インターンシップはご協力いただく企業におもむき、実際の仕事を体験しながら

ら学ぶ、まさに実践的な授業です。インターンシップがそのまま就職活動に結びつくこともあり、毎年多くの内定者を出しています。

5. フィッター実習やアシスタント実習など実践の場も多数

マロニエは多数のフィッターやアシスタント依頼があり、1年間で1人平均10回以上参加しています。熱心な学生にはショーやスタイリスト、企業からの勧誘や推薦といったかたちで就職にいたる場合もあります。